

# 市職労退職者の会

号 60 号  
2022 年 10 月 8 日

して、少人数のサークル活動を続けています。

現在、「山登り同好会」には 18 名の方が登録されています。これまで夏場の暑い時期（6 月～8 月）を外して登

格的な山登りの季節が始まります。高齢者の健康保持には山歩きがとても良いと言われています。必ず 3 名以上のグループで山登りを楽しんでください。

退職者の会「山好き同好会」の今後のスケジュールは次の通りです。参加を希望される方は、電話又和メールで左記までご連絡願います。

## 【今後の日程】

- ① 10 月 10 日（土）  
三日月・立花山（367 m）東区  
集合 JR 香椎駅 9 時 30 分
- ② 11 月 19 日（土）  
叶岳・高地山（419 m）西区  
集合 地下鉄橋本駅 9 時
- ③ 12 月 17 日（土）  
目配山（405 m）筑前町  
集合 西鉄朝倉街道駅 9 時 30 分

（注意）雨天の時は中止しますが、前日午前中にメール・電話でお知らせします。  
090・1346・7117 横多まで

## 市職労退職者の会 14 回総会と懇親会の開催について

依然として新型コロナウイルスの感染拡大が収まったとは言えない状況が続いています。しかし、世界的に「新型コロナとの共生」も言われ経済活動の拡大も進み始めています。市職労退職者の会役員会でも来年度 14 回

## 山好き同好会

### 遠見岳山頂の絶景です

#### 「健康登山」に参加しませんか

市職労退職者の会では、新型コロナ感染拡大に見通しが立たない中での活動スタイルと



山を楽しんでいます。主に公共交通機関を利用して県内各地の低山（300m～600m）を“往復 4 時間程かけてゆっくりペース”で登ります。9 月 24 日（土）は、久山町にある「遠見岳（317 m）」に 7 名で登りました。（写真）

夏場の運動不足もあって往復 2 時間、2.5 キロ程の道のりでしたが登り勾配が続く登山道で、途中何度も休憩を挟んで無事登頂しました。遠見岳山頂は、玄界灘の大島から西の糸島が見え、気候によつては壱岐の島も見る事が出来るとのことが出来る絶景ポイントでした。

猛暑日が続いた今年の夏も漸く終わり、本



総会の開催について協議した結果、新年1月14日(土)に総会及び懇親会を開催する方向で準備を進めることにしました。ただし、年末に向けての状況も見ながら12月初めに最終判断を行うこととしました。

〔バスハイクを実施します〕

肥前浜宿と塩田津を旅する

西九州新幹線が開通して佐賀・長崎ルートをつなぐ沿線に当たる嬉野、鹿島の地域は盛り上がりつつあります。「退職者の会バスハイク」には20名以上の参加申し込みがありましたので次の通り実施します。尚、最終の参加申し込みを10月17日(月)としていますので参加希望の方がいましたらご連絡ください。

◆◆ 感染対策として ◆◆

- ① 車内空気は3分程度で常時換気されます
  - ② 車内での飲酒は禁止とします
  - ③ 車内では常時マスクの着用をお願いします
  - ④ 車内会話はマスクをして小声でお願いします
  - ⑤ 昼食時は少人数(4人程)の席に分散します
- 以上のように制限もありますが、安全・安心を最優先にして楽しいバスハイクとします。

日時 10月20日(木)

午前9時出発(時間厳守)

場所 肥前浜宿と塩田津の旅

地元の観光ガイドが案内

集合 市役所本庁玄関前

参加費 4,500円(昼食代含)

募集 40名程度

申込み 市職労書記局

電話 092・711・4940

Fax 092・714・4013

第2次締め切り【10月17日(金)午後5時】

鹿島市肥前浜宿

(浜庄津町浜金屋町)

肥前浜宿は有明海に注ぐ浜川河口にあって



浜庄津町は浜川右岸にあり、起源は中世まで遡ると考えられます。江戸時代には鹿島の藩の外港として、また長崎街道の脇街道・多良海道の中継地として重要な位置を占めました。浜庄津町は港町として、また浜金屋町は鍛冶屋や大工などが居住する職人町として賑わい「浜千軒」と言われました。緩やかにカーブする旧多良海道や川から引き

嬉野市塩田津

込まれた水路、茅葺や瓦葺の町屋が、近世から近代にかけて町の雰囲気をよく伝えていきました。

塩田津は有明海に注ぐ旧塩田川に沿った集落で干満の差を利用した川港として、また長崎街道の宿場として大いに賑わいました。寛永十六年(1639年)には佐賀藩の支藩・蓮池藩の領地となり「御蔵」と呼ばれる藩蔵が置かれ、水運の要として重要な位置を占めました。有力商人が競って建てた「居蔵家」と呼ばれる町屋がその繁栄を物語っています。明治から昭和初期にかけて最盛期を迎えますが昭和37年の大水害後、塩田川の改修が行われ、川港としての役割が終わりました。

